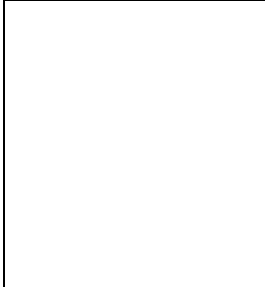


▽ 吉田 肇吾 講師 YOSHIDA, KEIGO



所 属:総合文化学 日本文化学科

担当科目:卒業論文、ゼミナールⅠⅡⅢⅣ、図書館文化論

司書課程科目:生涯学習論、図書館制度・経営論、情報サービス論
情報サービス演習Ⅱ、図書館施設論

司書教諭科目:学校経営と学校図書館、情報メディアの活用

学歴等のプロフィール

① 【 主要学歴 】 ② 【 学 位 】 ③ 【 所 属 学 会 】 ④ 【 主要な社会的活動 】

- ① 図書館情報大学大学院 図書館情報学修士課程修了
- ② 修士(図書館情報学)
- ③ 情報メディア学会、日本図書館情報学会、日本学校図書館学会、日本図書館研究会、日本図書館文化史研究会、西日本図書館学会、日本図書館協会、全国学校図書館協議会
- ④ 日本図書館協会(評議員、第27～29期)
沖縄県図書館協会(理事、平成17年3月)
那覇市立図書館協議会(会長、平成16年3月)
南風原町立図書館・文化センター建設委員会(図書部会長、平成15年3月まで)
沖縄県読書推進運動協議会(理事、平成17年3月)
那覇市社会教育委員会(委員、平成19年3月)
沖縄市図書館づくり懇話会(会長、平成27年3月)
沖縄県立図書館協議会(会長、平成27年3月)
宜野湾市民図書館協議会(会長、現在に至る)
中城村護佐丸歴史資料図書館協議会(会長、現在に至る)

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1教育活動・方法の実践		
1)文化情報学基礎演習 図書館文化論	2011年9月～1月 2014年10月～	平成26年度後期、日本文化学科2年次、全15回 (H26の学生数 2年生:34名) 専門課程で図書館情報学ゼミへの所属を希望する学生のプレゼミと位置づける。 3年次からの各自のテーマ研究に入る前に、図書館関連法規、政策、国の理想像と調査による現実の比較等、基礎的知識と分析枠組みを獲得させる。 さらに、現代の公共図書館が直面する諸問題を取り上げ、内容把握、問題点、対処方法を考察させる。 同内容は、新設科目「図書館文化論」に移行。
2)ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	1998年4月～	日本文化学科3・4年次、専門科目、全15回 専門課程での図書館情報学ゼミと位置づける。お互いに学び合うゼミとして、各自が卒論のテーマ設定から、論文促成作業を展開させるが、テーマ・方針発表、中間発表の他は個別指導を主とする。最後に発表・質疑・応答の時間を設ける。
2. 作成した教科書		
1)「レファレンスサービス 演習」	1998年4月	(改訂版 理想社) 図書館司書課程の必修科目「レファレンスサービス演習」のテキスト。現在の改訂版に至るまで版を重ねる。
2)「情報メディアの活用と展開」	2005年4月	(改訂版 青弓社 2009年3月) 学校図書館司書教諭課程の必修科目「情報メディアの活用」のテキスト。現在の改訂版に至るまで版を重ねる。
3)「学校経営と学校図書館」	2002年5月	(改訂版 学文社 2008年8月) 学校図書館司書教諭課程の必修科目「学校経営と学校図書館」のテキスト。現在の改訂版に至るまで版を重ねる。
4)「情報検索演習」 「情報サービス演習Ⅱ」	1997年10月～	図書館司書課程の必修科目「情報検索演習」の資料・演習問題。情報検索のキーポイント、各種データベース、インターネット情報資源の検索などについて、図書館での利用者からの質問をもとに実践的な問題構成と

<p>5)「情報メディアの活用」</p>	<p>1998年4月～</p>	<p>して演習時間に配布し、今日に至るまで改訂を続けている。 2013年4月から「情報サービス演習Ⅱ」に移行。 学校図書館司書教諭課程の必修科目「情報メディアの活用」の資料・演習課題。学校図書館関係の資料作成の演習課題として、「図書館だより」や「パスファインダー」の作成方法をまとめ、同科目後半のPC教室での演習時間に配布している。</p>
<p>3. 学生支援活動</p>		
<p>1)図書館オリエンテーション</p>	<p>1998年～2012年</p>	<p>新入生に対するオリエンテーション。 「図書館司書資格」と「学校図書館司書教諭資格」の内容・取得方法、卒業後の進路等につき、資料を配付して概要を説明し、新しい動向を反映させた情報提供・周知案内をする。</p>
<p>2)ゼミナール合宿：図書館見学</p>	<p>1998年6月～</p>	<p>夏季または春季ゼミ合宿の期間中に、図書館見学を組み込み、学生達が希望する県内の公共・大学・学校図書館を訪問し、職員から図書館の現状と課題について説明を受けたうえで、施設・設備を見学させてもらう。</p>
<p>3)キャリア支援(公務員)</p>	<p>2010年4月～</p>	<p>3・4年生の「演習(ゼミ)」で、前期の1時間を使用し、公務員試験に合格したゼミOGを呼び、「公務員試験対策」と称して、試験準備の方法・内容、さらに現在の業務内容などについて具体的に話をしてもらい、学生達の意識を高める。</p>
<p>4.学外での教育活動</p>		
<p>1)琉球大学での非常勤教員</p>	<p>2000年10月～ 2010年4月～</p>	<p>平成12年度以降、琉球大学 後期「情報メディアの活用」2単位 60名 前期「学校経営と学校図書館」 2単位 60名</p>
<p>2)沖縄県公共図書館初任者研修講師</p>	<p>2010年6月～</p>	<p>沖縄県公共図書館連絡協議会主催の研修会において、公共図書館への初任者を対象として講師を務めている。</p>
<p>3)近畿大学での非常勤教員</p>	<p>2011年4月～</p>	<p>平成23年度以降、近畿大学の沖縄スクーリング 「情報サービス演習」2単位 約20名 「情報資源組織演習」2単位 約20名</p>

4)沖縄市立図書館セミナー	2010年11月	沖縄市民に対して、公共図書館の機能と役割をわかりやすく紹介する。
5)那覇市学校図書館司書研究会	2012年7月	那覇市立小中学校図書館における司書教諭と学校司書の役割を説明し、事務職員としての学校司書がすべきこと・留意点を具体的に説明する。
6)沖縄市学校図書館司書研修会	2015年1月	沖縄市立小中学校図書館における司書教諭と学校司書の役割を説明し、児童・生徒への対応時に学校司書が留意すべき点について具体的に説明する。
7)県立学校事務員(図書館担当)研修会	2016年7月	高等学校図書館における学校司書の役割を説明し、児童・生徒への対応時に学校司書が留意すべき点について具体的に説明する。
8)沖縄県小中学校司書研究会研修会	2016年7月	小中学校図書館における学校司書の役割を説明し、児童・生徒への対応時に学校司書が留意すべき点について具体的に説明する。

研究業績等

【 主要論文及び主要著書 】

「レファレンスサービス演習」 理想社、1999年
「沖縄における教育の課題」沖縄国際大学、2002年
「学校経営と学校図書館」学文社、2002年
「情報メディアの活用と展開」青弓社、2003年
「レファレンスサービス演習 改訂版」 理想社、2005年
「情報メディアの活用と展開 改訂版」青弓社、2008年

研究分野

図書館情報学、図書館政策、図書館経営、図書館建設、情報行動

【Eメール・ホームページ等】

yoshida@okiu.ac.jp

平成29年4月24日現在